



発行者 **楽しい株式会社**

住所 北九州市若松区向洋町10番1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2014年7月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

愛知発オリジナルリサイクル ループ「めぐりん菜」本格稼働

愛知県を含む中部地区において独自のリサイクルループ作りに取り組む豊田産業株式会社様（愛知県刈谷市一色町3-12）の取り組みをご紹介します。

豊田産業株式会社様とは・・・

豊田産業株式会社様は、1947年に、(株)豊田自動織機製作所（現豊田自動織機）の織機及び関連部品の販売を目的で創立し、1954年に現在の豊田産業(株)の前身である(有)豊年社を設立し、今年で60年の節目を迎えられます。

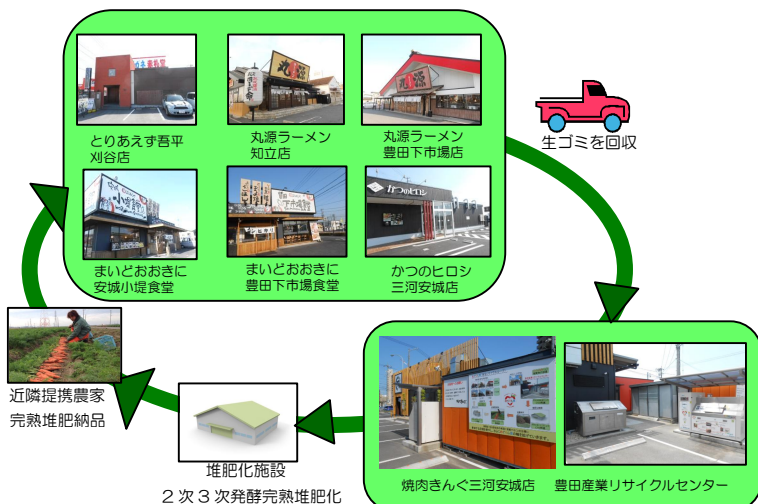
また、2000年に外食事業部門（飲食店経営とフランチャイズサポート）を立ち上げられ、展開される外食店舗は、117店舗です。（2014年4月現在）

同時に、資源循環型社会の構築、地域・社会の発展を目指し、環境イノベーショングループを設立され、独自の食品リサイクルループ「めぐりん菜」を構築されています。

豊田産業リサイクルセンター稼働

6月より、自社の食品リサイクルがスタートしました。直営の外食店舗6店舗から生ゴミを回収し、リサイクルセンター（焼肉きんぐ三河安城店敷地内）に設置した生ゴミ処理機で1次発酵、減量を行います。半年に1度、1次発酵分解床を抜き出し、堆肥化施設で、2次3次発酵完熟堆肥化を行い、近隣の提携農家で使い、農作物を栽培、自社の店舗で購入、使用します。

外食産業は食品リサイクルの取り組みが遅れている業界のひとつです。今回の豊田産業様の「めぐりん菜」の特徴は、店舗にて食品リサイクルとともに収集、運搬業者の集約・変更によるコストダウン、回収業者にとっての新規顧客開拓、農家の新しい販売先の確保とめぐりん菜の関与者がすべてメリットを享受していることです。



豊田産業外食：とりあえず吾平×鈴盛農園 コラボ企画 「吾平 de 農 cafe」

リサイクルセンターの本格稼働にあわせ、7月より循環農作物を使った企画を開催いたします。めぐりん菜の有機堆肥で育てた人参「Sweet Carrot Lily」を「にんじん酢ドリンク」に加工し、カクテル、デザートに使用します。

今後の展開

さらに大きなめぐりん菜の輪をめざしてステップ1：店舗に野菜を納入している食品加工会社のループへの参加を進めます。ステップ2：提携農家の拡充とともに、店舗での循環農作物の使用を進めます。ステップ3：他直営店、FC店含め食品リサイクル店舗の拡大を進めます。あわせて、このめぐりん菜の輪に色々な食に関係する事業者が参加いただけるようPRに努めます。



東京都昭島市立つつじが丘南小学校 での食育出前授業

テーマ：「給食ごみのリサイクル～環境に優しい仕組み」



6月16日に出前授業を受けたのは、4年1組の児童31名。

5時限目の授業で、顕微鏡やプロジェクターがある理科室にて実施しました。先生は、カルピス社

発酵応用研究所の上杉先生。

「みんなの好きな給食のメニューは何か？」の質問からスタートし、どんだん子供たちが引き込まれていきます。

「生ゴミは燃やすと何が悪いかな？」の質問には、「エネルギーを無駄にする」などの回答も。

生ゴミをリサイクルする生ゴミ処理機が活躍していることや、「発酵」とい

う言葉も学びました。「発酵」するには、「菌ちゃん」（微生物）が活躍していること。実際に顕微鏡で動いている「菌ちゃん」を観察。顕微鏡を夢中に覗く子供たち。動くスライドを見ながら楽しく学びました。できた堆肥も観察し、この堆肥が野菜に使われ、野菜を元気にすること。その野菜がみんなの給食で使われて、ぐるぐるまわるしくみ「食のリサイクル」が完成。今後このプログラムを通じて、小学校の食育に少しでも貢献していければと考えています。

※平成26年度につつじが丘南小学校に設置した生ごみ処理機はカルピス社の微生物で生ごみを分解させています。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。（竹村が担当しました。）